

小規模多機能型居宅介護まこと

グループホームまこと

運営推進会議議事録

平成 30 年 7 月 18 日（水）

19 時～20 時

小規模多機能型居宅介護まこと 2 階

司会 西崎・石井

書記 鹿野

参加者

- ・ 松本 GH まこと利用者ご家族
- ・ 登藤 GH まこと利用者ご家族
- ・ 東部北地域包括支援センター

欠席

- ・ 荒木様（貝塚町内会婦人部会長） TELにて欠席の連絡あり
- ・ 片桐様（貝塚地区：民生委員） TELにて欠席の連絡あり

1 挨拶

2 運営推進会議とは

3 事業運営報告

- ・ 5 月・6 月のサービス利用状況 （小規模・グループホーム）
- ・ まことでのサービス内容、行事等 （小規模・グループホーム）
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 5 月・6 月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センターからの声
- ・ 質疑応答（小規模多機能まことより）

4 質疑応答（意見交流）

- ・ 小規模まことより

5 その他

- ・ 小規模多機能、グループホームより
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ ボランティアの受け入れ
- ・ 今後の活動等

(2) 事業運営報告

■5～6月の介護度別サービス利用状況

(5月31日・6月30日付)

要介護	5月 小規模	6月 小規模	5月 グループホーム	6月 グループホーム
要支援1	1名	1名		
要支援2	2名	3名	0名	0名
要介護1	5名	5名	2名	1名
要介護2	8名	8名	3名	4名
要介護3	7名	7名	3名	3名
要介護4	4名	4名	2名	3名
要介護5	1名	1名	7名	7名
計	28名	29名	17	18名

西崎： 6月に変動があり、要支援2の方が増え現在29名のアシストは満床となっています。小規模の方も現在は定員に達しておりますが、随時申し込みを受け付けています。

石井： 要介護度の変動はありましたが、他大きな変わりはありません。GW前に退院した方が、GW後に再び違う病院に入院することになりました。ですが、現在は元気に過ごしています。

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

5月9日(水) まこと工作 ～色とりどり!かわいい金魚作り

西崎： 瓶を集め、ノリを溶かしたような物をいれ作りました。

5月17日(木) 外出レク～お花見ドライブ

5月21日(月) 外出レク～お花見ドライブ

西崎： 別保公園に行きました。散り始めていたようですが、外でゲームをして楽しんできたようです。

5月25日(金) 外出レク～博物館へ行こう!!

5月29日(火) 外出レク～博物館へ行こう!!

5月31日(木) 外出レク～博物館へ行こう!!

西崎： 以前展示会を見に行った時に「利用者様なら無料ですよ」と声を掛けてもらい、博物館側とアポをとりながら実施しました。

6月11日(月) 日本舞踊を観覧しましょう!

6月20日(水) まこと工作～うちわを作ろう!

西崎： こちらはまこと祭りで使いました。

6月13日(水) お買い物レク～フクハラ武佐店に行こう!

6月26日(火) お買い物レク～フクハラ武佐店に行こう！

6月29日(金) お買い物レク～フクハラ武佐店に行こう！

西崎：2000円の予算でしたが、夜のごはんように鶏肉を買っている方もいて驚きました。

■グループホームまことでのサービス内容・行事など

- ・ 5月 5日(土) 花苗の買い物(ホームック)

石井：毎年畑の1部を借りて花を植えています。今回は利用者様と一緒に好きな花を買いに行ってきました。

- ・ 5月 6日(日) 花植え(プランター作り)

石井：駐車場で利用者様と一緒にプランター作りをしました。また、別日に畑の方にも花を植えて、水やりを一緒に行いました。

- ・ 5月 7日(月) 母の日のお祝い(ちらし寿司・天ぷら・ケーキ・花のプレゼント)

石井：毎年母の日は、当日は面会が多いため日付をずらしてお祝いを行っています。スタッフが手作りした料理・プレゼントは喜んでもらう事が出来ました。

- ・ 5月 8日(火) ナルクボランティア

- ・ 5月 14日(月) お花見～1F

- ・ 5月 15日(火) お花見～1F

- ・ 5月 16日(水) お花見～2F

- ・ 5月 17日(木) お花見～2F

- ・ 5月 18日(金) お花見～2F

石井：初の試みで自分のお弁当は自分で作ろうと、おにぎりから作り、おかずも好きなだけ詰めて持って行きました。別保公園に行き、天気に恵まれた日は外で食べ、天候が悪い日は建物の中で食べて各々楽しんで帰ってきました。

- ・ 5月 19日(土) STによる嚥下機能研修

石井：実際の利用者様をモデルにして、職員対象に食事の際の対応について勉強会を行いました。

- ・ 5月 25日(金) 料理作り～芋団子汁～

石井：毎月恒例化しており、芋団子は形成から行いました。

- ・ 5月 29日(火) 避難訓練

石井：日中想定で行いました。

- ・ 6月 6日(金) 料理作り～カレー・スパゲティサラダ・フルーツヨーグルト

- ・ 6月 14日(木) おやつ作り～どら焼き～

- ・ 6月 22日(金) 鶴が岱公園散策

石井：天候が良い日が多くなってきましたので、外出の機会を増やす企画をしました。天気がいい日に当たり、花を觀賞して帰ってきました。

- ・ 6月 23日(土) 喫茶 まこと

石井：初の試みで、喫茶店の雰囲気を作りました。テーブルクロス・小物から集めて、ケーキも利用者様と一緒に作りました。メニュー表も作成し、好きな物を注文してもらい、提供しました。一番人気だったのはメロンソーダで「美味しかった」と喜んでもらうことが出来ました。

・ 6月24日(日) すいか割り

石井：裏の駐車場で割る雰囲気だけでも味わってもらおうと行いましたが、棒が短く難しかったとの声があり、次回の反省点としてあがっていました。他にも日常の家事の手伝いや、作品作りなども随時行っています。

■利用者ご家族からの声

小規模

* アシストの居室清掃費が、どうしても6万円も費用が掛かるのでしょうか？

今まで、そういう話は聞いておりません。 (K.Y様 ご家族より)

西崎：清掃費は敷金10万円の中に入っており、実際はご家族に負担はないのですが戻る金額が少ないという話でした。細かい見積もりは分からなく、事務から業者を通して見積もりを送らせて頂きますと伝え対応しました。その後、ご理解をしてもらい円満に解決しました。

* 小規模多機能での生活は慣れている様子で安心していますが、自分達が面会に行くと「〇〇月〇日に帰るから」と日付を指定して何度も言ってくる。本人の家族と職員の前での対応に二面性があり困っている。今しばらくは、帰れない事情もあり本人に理解してもらうのに相談したい (H.K様 ご家族より)

西崎：釧路動物園の近くで酪農をされていた方です。長男ご夫婦と同居しています。旦那様もいますが、片麻痺があり本人の介助は出来ません。夫婦が不在の時に一人で入浴し湯船に浮かんでいたという命の危険に陥った事もありました。暑い環境やお風呂上がりで意識喪失がある事があり、このまま家に戻れるかは断言できないでいます。医療機関と相談しながら調整していこうと考えています。自立度も高く、スタッフには何も言わないのですが、ご家族には不満を零しているようです。面会を控えた方がいいか相談がありましたが、面会をいきなり減らすのは良くないと考えています。本人は話せば理解できるので、現在は「調子が良くなるまでここにしようかな」と言われています。

* 私も高齢であり疾患を抱えているので、とても主人の面倒は見れない。要介護度が上がってもいいので、そろそろ住める施設を探してほしい。 (A.Y様 奥様様より)

西崎：この方は平成27年よりまことを利用しており、夫婦仲は悪くは無いのですが、奥様が手を挙げる方で何度か仲裁に入る形となっています。この度、A.Y氏は要介護度2→4に変更となり、今の状態はかろうじて歩けているが家の中でも転倒を繰り返し

ている。転倒した際に奥様が本人を助けられるのかと言うと、本人よりも高齢で心疾患も患っているので奥様ではもう限界。本人と共に共倒れし骨折した経緯もあり、在宅生活は限界であろうとの相談がありました。介護度が上がった事で住宅改修ができる事になり、手すりをつけ何とか施設が決まるまでの間、待機という形にしています。まことに通う回数も3~4回/週から、奥様の介護負担軽減の目的でほぼ毎日に切り替わり、奥様の都合に合わせて夜遅くまでお預かりするという事もあります。現在は奥様の手から少し離れる時間も必要ではないか？と考え、依頼があった時にはなるべく断らずに対応できるように、奥様の体調も考え受け入れています。

グループホーム

* (メロン事件から1年経ちましたね?)私たちが今、普通に生活を送れるのは、まことさんのおかげです。あの時はどうなるかと思いました。これからもよろしくお願いします。

(M様 ご家族様より)

石井：この方は幻視の強い方で、昨年5月に強く幻視が現れている時期でした。この時の内容は、メロンが7~8個あったはずなのに私の口に一口も入らないでどこにやった!というのがメロン事件と呼ばれています。この時は極度に興奮されて職員を蹴ったり叩いたりした出来事がありました。この時は早朝ではありましたが、ご家族に連絡させてもらい実際に来所をお願いしました。病院などの調整を行ったという一連の出来事がありました。あれから1年経ちましたね?と笑話の一つとして話をしました。現在は幻視の出るタイミングや生活パターンの把握ができたこともあり、食事場面での子供の幻視が多くありますが落ち着いて生活されています。

* また入院することになってご迷惑をお掛けします。主人とも生前に話していて「痛みなく、苦しまず」最期を迎えてくれれば、場所はどこでもいいんです。私も体調が悪いのに、主人の弟の事まで私がやらなければならないので、義母の事は全部まことさんに任せますから。退院の時もお願いします

(T様 ご家族様より)

石井：この方はGWを跨ぎ入退院をされた方です。以前のこの会議内でも嫁姑関係が上手くいっていないケースとしてご紹介した方です。嫁が関わる場面は必要最低限の内容に留まり、家族以外で代わりに対応できることは、全て代替してくださいという事です。一時はご家族をいかに巻き込むかを考え関わりを持ってきましたが、嫁側の意思が頑なに拒む姿勢が強く、本人の事を考えると居た堪れなくなり発想を替え、この本人を守る事を最優先に考え対応することにしました。と言っても、それでもどこかで繋がりを持っていて欲しくて。今までは必要な物品はGHで立替購入していましたが、ご家族への依頼に切り替えてみましたが、嫁ではなく孫が購入した物品を玄関先に置いていき、本人には一切会うことがない現状です。本人は「どうしているのかな・・・」と心配している発言があり、職員側も実情が分かっているが故に言葉を選び「どうしてるんだろうね」と話をあわせる対応をしています、心苦しく感じています。

* (面会時の様子を尋ねると…)

母は歯磨き等を手伝ってもらう事に関して申し訳なく思っていると話していました。

(S様 ご家族様より)

石井：毎週金曜日に息子夫妻の面会があります。パーキンソン症候群であり身体や指が思うように動かなく、日や時間によって症状の出方が変わる方です。誰かに手伝ってもらう事を心苦しく思っている方です。職員に頼みたいけれど申し訳なくて頼めないという感じで、なかなか声に出せない事もあり、本人の様子を見ながら介助に入っているのですが、家族には本音を話していたようで。家族は気にしないで下さい。大丈夫ですよと話していましたが、やはり家族には本音を伝えられるようなので、これからも何か本人が話していたら教えてくださいと話をさせていただきました。

西崎：ご家族の方にもご意見を聞かせていただきたいと思います。登藤様、いかがでしょうか？

登藤：いつも世話になってます。うちも、なるべくなら自分でやりなさいって話していません。なんか言えば勝手なことばかり言って、自分の都合のいい事ばかり言ってるんです。自分でできる事は、やらなきゃダメなんだ！って、どうも甘えっこで。

鹿野：大丈夫ですよ。ご自分でされていますよ。

登藤：もう結婚して50年以上経つんだけど、そんな甘えた事は聞いたこと無かったんですよ。やっぱり病気になったら「いやいやいや〜」って言うようになって、どうしようもならない。意気地が無いと言うのか根性が無いと言うのか、お前だら本当にどうしようもならないと笑いながら声を掛けるんだけど、なんだかんだ色々細かい事ばかり、ホームではお世話になりっぱなしで、感謝しております。

鹿野：最近、周囲の方に感化されてか、今までやらなかった洗濯物たたみ等をやってくれていますよ。ウェスを切ってくれたりもしていますよ。

登藤：そうでしたか。自分の事ぐらひはやりなさいってね。こうやって見ていたら、自分の下着ぐらひ畳みなさいって言ってたんだよね。できる自信がついたら他にも色々手伝って、何でもやりなさい。それもリハビリになるんだから。って言って聞かせてるんだよね。あんまり何もやらないんだら、外出も連れて行かないぞって言ってたんだ(笑)

鹿野：僕達も出来そうな物は声を掛けて手伝ってもらうようにしていて、最近は自分から進んで「これ、やるよ」と言ってくれるようになっていきます。

登藤：なんかかんか理由つけるんだよね。「指が痛い」とかってね。病気のせいになっちゃったんだろうけど。それもリハビリなんだから一生懸命、動かさないとダメなんだよってね。リハビリだと思ってやらなきゃダメだよ。あんまり文句ばかり言っていないでって、はっばかけてやってるんだ。

西崎：ありがとうございます。続いて松本さんも何かご感想はありますか？

松本：私も隣で母がお世話になっているんですけど、入所した時と比べて今はどうですか？

石井：今は落ち着いて生活されていて、毎日ニコニコと歌を歌って生活されています。ムードメーカーで、松本さんの歌を楽しみにされている方もいらっしゃると思います。

松本：そうでしたか。それなら、安心した。この前は部屋で「岸壁の母」を歌って聞かせてくれたんだけど。歌詞も見ないですんまり歌っていたんでびっくりしました。

石井：響くような大きな声で歌っていますよ。

西崎：すごく良い反応ですね。

松本：波はあるんだろうけど、今の所は落ち着いてね。居てくれるだけで安心しています。

西崎：お隣なので、会いにも行きやすいですね。では、最後に高橋さんからお願いします。

高橋：東部北地域包括支援センターの高橋です。いつもお世話になっております。今年から特にこのエリアのGHの皆さんと地域の方々と連携会議というのをやっていて、認知症の人を地域の人と共に支える仕組み作りを進めているところです。例えば、徘徊で居なくなってしまった時に、声を掛け合えるようなそんな町になろうとか、あとは、GHの人たちは認知症の知識が非常におありなので、実際の入居者の人への対応や困っている地域の人たちの相談機関として活躍していただくとか、他にもサポーター養成講座も一緒に開催していこうとしていて、子供たちを対象にしたキッズサポーター養成講座も開いて、認知症の事を知ってもらって。住んでいる皆が優しい町にしようと、取り組みを始めた所です。これからもGHの皆さんと包括と一緒に協力してやって行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。あとは、ヒヤリハットや事故報告はこれからになると思うんですけど、どうしても件数が0というのはなかなかね、職員の人数も少ない中でやっているの、大変だと思うんですけど、それでもチャレンジし続けるということは大事で。特にGHが5~6月で2倍以上の件数になっていますので、内部の中で何故これが起きてしまったのか、対応がどうだったのか、その振り返りと対応策をきちんと考えられる職場であって欲しいなと思っています。次回の会議の時には、増えることが無く減っていればいいなと思っています。それとGHさんも小規模さんも今は定員数になっていますが、待機の方はいますか？

西崎：そんなには、いません。やはり皆さん、他のところも掛け持ちで申し込まれている方たちなので。空いた時にタイミングが合えばという形が多いです。

高橋：アシストさんも登録待ちですか？

西崎：待ちがありますが。小規模多機能のロングスティみたいな形でいらっしゃると思いますが、その方ぐらいです。

高橋：では、相談に乗っていただけそうですか？結構、相談が多くて。その時はよろしくお願いします。ありがとうございました。

■5月・6月の事故報告について

	小規模	小規模	GH	GH
--	-----	-----	----	----

	5月	6月	5月	6月
アクシデント	1件	0件	0件	1件
インシデント	3件	4件	3件	6件
ヒヤリハット	2件	2件	1件	3件

西崎：ありがとうございます。続きまして、事故報告に移ります。5月6月の内訳は参照下さい。主な内容についてですが、ヒヤリハットは薬関連で、利用者様に提供する前の確認時に間違いに気付いたという事でヒヤリに挙がっています。インシデントは、実際に転倒されたが、病院に行くほどではなかった事案と食前薬を食前に服薬せず、時間をずらして食後に服薬してもらった件。体温を測り忘れて入浴した件など。アクシデントについては、既に行政報告を済ませている内容ですが、この場でも報告させていただきたいと思います。転倒による右手首骨折です。83歳女性の方。脳梗塞後遺症を抱えておりますが、今は認知症もでています。発生場所は2Fの廊下。夕食後の5時25分。本人はフリーで歩行されています。夕食後に口腔ケアは職員が介助に入った後、ペーパータオルで手を拭きながら自室に戻ろうとした時に、まだ夕食後薬を飲んでいない事を職員が遠くから、まだ薬を飲んでいないからリビングに戻ってきてと声を掛けたときに、本人はその声掛けに反応して振り返る時に、足がもつれて転倒。頭などを打った状態。すぐに状態を確認し、身体確認した時には特にバイタル含め特に問題は無かったので、そのまま様子を見る事になりました。本人も痛みについては曖昧で、痛いかな？痛くないかな？のような様子でしばらく、様子を見る対応になりました。その夜の23時の安否確認時に右手首から甲に掛けて腫れがあり、青く変色し熱もありました。看護師に相談してその時はアイシングして今は様子を見ようとの事でした。本人もその時には「痛い」と話されて、次の日、東北海道病院に受診し右手手首骨折の診断を受けギプス固定して帰設しております。幸い骨折自体は重度ではなく、1ヶ月のギプス固定予定となりました。その後、西崎より家族へ連絡し、昨夜の転倒と腫れが出てきたので急遽、病院を受診した経緯を説明しました。ご家族は七飯町の方でなかなか来る事ができません。そしてこの方は、後3日程で退去予定となっております、七飯町に戻る予定となっていて、戻る矢先の転倒になってしまい、謝罪のご連絡をさせていただきました。反省点としては遠くに居る状態で声を掛けたこと。声を掛ける時にはそばにより、いつでも手を差し伸べられる位置で行うこと等、反省点を挙げております。

石井：続いてGHです。件数はご参照下さい。インシデントの主な内容は薬の落下、座り込み、転倒、服薬時間の遅れ、居室内の物干し竿の落下、非常口の施錠確認忘れがありました。施錠に関しては、朝6時と夜9時に確認する事となっております。この件には職員が3名関わっており、1人は確認忘れ、2人目は目視確認で済ませて、3人目はドアノブを触っただけと、確認方法が統一されていなかった。改善方法は、全員で確認方法を再確認をしました。アクシデントは、貼付薬の剥がし忘れです。夕食後に1枚心臓の張り薬を張り替える事になっていました。マニュアルでは、

前日分を剥がしてから、新しい物の位置をずらして貼る事になっていました。

この時は居室内に戻って張り替えようとしたのですが、その時には便臭があり、職員はそちらに気を取られ、張り薬を替える事が抜けてしまいました。本人が寝た後に貼っていない事に担当職員は気づき、慌てて寝ているところへ行き張り替えたら、剥がすのを忘れてしまったとの事です。翌日、入浴の際に貼付薬が2枚貼ってある事に気づき、前日分を剥がしています。介助担当職員はマニュアル自体は把握していたが、おむつ交換に気を取られ抜けてしまったと。改善策は貼付薬は日付を入れる。剥がしてから新しい物を貼る。剥がした薬はもう1人の職員が確認する。として、職員に周知しています。

■ 地域包括支援センターからの声

高橋：先ほどお伝えしたので、大丈夫です。

4 質疑応答（意見交流）

・GH まこと

・外国人技能実習生の受け入れについて

石井：平成29年11月に外国人技能実習制度に介護職種が追加となる制度改正がありました。これを受けて当方人でも4月からの受け入れを目標に2月より手挙げし動いておりましたが、なかなか書類審査や道庁側の動きにも時間が掛かり、今現在も受け入れが出来ていません。最近、日本への入国許可が下りスムーズに行けば8月中には技能実習の開始予定となっています。受け入れ先はGHまことが先陣を切り、順次、小規模まこと、やよい地区の小規模とGHにも受け入れ予定となっています。今回対象となる方は、中国国籍の男性、26歳の方で段博文氏です。平成24年より2年間、語学留学での在日経験がありその後、福祉大学で学んでいましたが体調を崩され1年ほどで帰国されたそうです。帰国後は看護師として勤務されているとの事です。今回日本に来る理由としては、日本式の介護技術や考え方を学び、中国に戻り日本式の介護事業所を立ち上げたいという志を持って来日します。技能指導員は、柴田が担当し、生活指導員を石井が受け持つ事となりました。これから3年間、共に学んでいく事となりましたので、よろしく願いいたします。

・平成30年4月 介護保険法一部改正について

石井：改正に伴い、新たに加算、減算が加わりました。その内容についてお知らせいたします。ご家族様におかれましては、既に柴田が説明させていただき改正内容についての同意を受けております。今回はGHまこと算定予定分のみをお知らせします。口腔衛生管理体制加算について・・・概要は歯科医師または歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が介護職員に対し口腔ケアに関する技術の助言、指導を行う事となっています。この内容はGHまことの入居者の口腔状態の評価、適切な口腔ケアの手段口腔ケアに必要な物品整備、口腔ケアに伴うリスク説明、その他日常的な口腔ケア

が実施できているかを評価してくれる予定です。介護保険料は1割負担の方で、30円アップとなっています。これにご協力いただくのは岡田歯科の岡田先生に打診をかけており、整い次第算定予定となります。

栄養スクリーニング加算・・・介護職員が利用者の栄養状態に問題がないか、定期的に確認し、記録を残し必要に応じて医師、歯科医師、管理栄養士に相談助言を受ける事で、栄養状態の向上を図る目的となっています。現在、介護職員にもできる簡易的な栄養スクリーニング表を作成して6ヶ月毎に評価していきます。栄養状態の維持、向上を目指していきます。半年に1度、1割負担の方で5円上がる予定です。身体拘束廃止未実施減算・・・施設において身体拘束等を行う場合において記録、拘束時間、心身の状態及び緊急やむを得ない理由の記録を行っていない場合に減算となります。万が一、止むを得ず身体拘束を行った場合は記録を残し、いち早く解除できるように努めなければ、1日の介護保険料利用料金の10%が減算される事になっています。要介護度別に1日の利用料金は違いますが例えば、要介護5の方では1日1,009円の利用料の内、10%引かれ907円の利用料金を受ける形になります。GHではこの3点の加算減算が対象となっています。この件についての問い合わせは、柴田が対応させていただきますので、ご不明な点については問い合わせ下さい。

西崎：ありがとうございます。3項目目は身体拘束が実施されてからの内容となっているですもんね？

石井：はい

西崎：同一法人なので、小規模も実施した場合には同様の書式、手順で代替案を出し、速やかに解除ができるように努めています。拘束といっても医療的な縛るという事だけではなくて、サイドテーブルとかも拘束の対象になるので、まことの方では事前に同意書を取り報告しているという方もいます。

5 その他

・今後の活動について

(小規模多機能)

7月6日(金) まこと運動会

7月3日(火) 外出レク『NHK見学へ行こう！！』

7月19日(木) 外出レク『NHK見学へ行こう！！』

7月28日(土) まこと夏祭り

8月1日(水) うちわ作りをしましょう！

8月3日(金) 運動公園へ行こう！

8月6日(月) 運動公園へ行こう！

8月23日(木) 運動公園へ行こう！

8月21日(火) 豪華客船を見に行きましょう

8月29日(水) 豪華客船を見に行きましょう

西崎：7月は既に実施済みで運動会は2階のこの会場で行っています。他にも外出レクを

企画し、明日行く予定です。この後も夏祭りが予定されていたり、豪華客船を見にという内容も入れておりますので、次回の時にご報告させていただきます。

(グループホーム)

7月

誕生会・家族と一緒に焼肉レクリエーション・まこと祭り

8月

誕生日会・たこ焼き作り・花火会

石井：7月も誕生会は、おすし屋さんと中華料理店にそれぞれ対象の方と主に外食に行っています。昨日はご家族の方とともに駐車場で焼肉レクを行っています。登藤様もご参加いただきましてありがとうございます。

登藤：かえって、美味しいお肉なんかをお腹いっぱいご馳走になっちゃって。

西崎：ちょうど天気も良く良かったですね。楽しそうでね。羨ましいなと思って見ていました。

石井：昨日はご家族も合わせて38名の参加がありました。盛大にできて楽しんでいただけたのではないかな？と思います。

西崎：音も賑やかで、まこと祭をやってるのか？って思うような賑やかさでしたね。

石井：天気が良かったので日焼けされる方もいて。そして、普段と違う食事に喜ばれて、お腹いっぱい食べたと話されていました。大成功でした。まこと夏祭りへの参加も今年のご家族様も多くて、こちらも賑やかになるのではないかな？と思います。是非、よろしく願いいたします。他にも花火会を予定しています。

西崎：では、以上をもちまして運営推進会議を終了いたします。次回も夜を予定しております。近くなりましたらご案内させていただきますので、次回もよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

次回開催予定日 平成30年9月19日(水)19時 小規模多機能型居宅介護まこと2階